

10のルールで読み解く

初めての人のための決算書の読み方入門講座

本セミナーは『社内研修』としての開催も可能です。詳しくは下記担当までお問い合わせください。

※ご参加者は電卓をご持参ください

～ 今さら人には聞けない『決算書』の読み方を平易に解説 ～

※8月開催、9月開催の内容は同一です。ご都合の良い日程でご参加ください。

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日 時▶ 2019年8月19日(月) 13時-17時 日 時▶ 2019年9月30日(月) 13時-17時

会 場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町) 会 場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《開催にあたって》

「貸借対照表」「損益計算書」に代表される決算書を見ても何だかよくわからない。そんな悩みをもっていませんか？会社にとって決算書は1年の仕事の成果を総合的に評価する成績表です。それだけに、決算書を正しく読むことはビジネスパーソンには必須のスキルと言えます。このセミナーでは、債権回収のプロとして本当に使える決算書の活用を体験してきた講師が、とにかく短時間でわかりやすく解説します。また、講義ばかりではなくワーク(計算演習)を通して実践的に学べます。

【セミナー受講の3つの効果】

1. 決算書の基本を簡単マスター
2. 決算書の押さえどころがスグわかる
3. 簡単な経営分析・経営効率分析までわかりやすく解説

講師紹介

株式会社ヒューマンパワー・リサーチ 森真一 氏

《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会 Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円 (本体価格 32,000円) 一般 37,800円 (本体価格 35,000円)

希望会場に「」をご記入下さい。

	8月19日開催 191552-0101		9月30日開催 191617-0101
ふりがな 会社名			
住 所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究学会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

1. 決算書には2人の主役がいる！
 - (1) 貸借対照表 (BS)
 - (2) 損益計算書 (PL)
2. BS (貸借対照表) には3つの家と6つの部屋
 - (1) BSの3つの家と6つの部屋
 - (2) 資産 (流動資産・固定資産・繰延資産)
 - (3) 負債 (流動負債・固定負債)
 - (4) 純資産 (自己資本)
3. 流動資産と固定資産の捉
 - (1) 流動資産の捉
 - (2) 固定資産の捉
4. 流動負債と固定負債の捉
 - (1) 流動負債の捉
 - (2) 固定負債の捉
5. 自己資本と他人資本の捉
 - (1) 自己資本の捉
 - (2) 他人資本の捉
6. BS (貸借対照表) の重要な公式
 - (1) 純資産 = 資産 - 負債
7. PL (損益計算書) の5つの利益の捉
 - (1) 売上総利益
 - (2) 営業利益
 - (3) 経常利益
 - (4) 税引前当期純利益
 - (5) 当期純利益
8. 経営分析の3つの重要指標【演習】
 - (1) 自己資本比率
 - (2) 流動比率
 - (3) 売上高営業利益率
9. 経営効率分析の2つの重要指標【演習】
 - (1) ROE (自己資本利益率)
 - (2) ROA (総資産利益率)
10. 最後の大物キャッシュフロー計算書
 - (1) 営業キャッシュフロー
 - (2) 投資キャッシュフロー
 - (3) 財務キャッシュフロー

※参加者は電卓をご持参願います。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。